

講演テーマ

“Well-being for All”の実現に向けて



～ 魅力ある中部圏を目指して ～

主催 / 日本福祉大学、日本福祉大学後援会

2025 **10|18** 土

[定員: 500名]

時間 14:00～15:30

参加費 無料 ※事前申込みが必要です。

会場 名古屋観光ホテル 曙の間

〒460-8608 名古屋市中区錦一丁目19-30

名古屋市営地下鉄 東山線・鶴舞線 「伏見」駅⑧⑨⑩番出口から徒歩約2分



水野明久氏

Mizuno Akihisa

中部電力株式会社 相談役

(元代表取締役会長)

前一般社団法人中部経済連合会会長
元愛知県経営者協会副会長

【講演概要】

先行きの不透明感が増す現代社会において、産・学・官・金が同じ方向を見据え、共に歩みを進めていくことがますます重要になっています。

本セミナーでは、本年2月に中部経済連合会が発表した「中部圏ビジョン2050」をもとに、大学や地域が担う役割や直面する課題を踏まえながら、「魅力ある中部圏をどうつくるか」について、皆さんと共に考えていきます。

【中部圏ビジョン2050のポイント】

①「産業の進化と多様化」

中部圏の強みである製造業のスマート化を起点にDXとGXにより産業の進化と多様化を進め、さらには産業による社会システム（交通システム、物流システム、医療システム、エネルギーシステムなど）の変革により新たな価値を創出し社会課題を解決する仕組みを中部圏発で日本・世界に展開することを目指す。

②「人材・働き方の高度化」

「人」を成長の源泉と位置づけ、人的資本投資を拡大し、生成AIの普及・発展も前提に、多様な人材が活躍できるよう、国内外から人を引き付ける地域として「人材・働き方」においても、わが国および世界の先進地域を目指す。

③「魅力と活力のある地域社会の形成」

リニア中央新幹線の開業や「日本中央回廊」の形成効果を最大限生かし、名古屋と中核都市を中心とした圏内の多極分散、文化・芸術なども含めた魅力ある地域づくりなど、東京一極集中の是正を実現するひな型を示す地域を目指す。

※中部経済連合会WEBページより引用